

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	40,000,000	39,607,262	392,738		
	自主事業収入	8,000,000	2,545,880	5,454,120		
	物品販売収入	1,000,000	567,605	432,395		
	手数料収入	0	0	0		
	指定管理料	70,000,000	70,000,000	0		
	その他収入			0		
収入総額		119,000,000	112,720,747	6,279,253	0	
支出	人件費	40,840,000	39,709,508	1,130,492		
	事務費	3,680,000	2,843,243	836,757		
	管理費	29,230,000	37,738,230	(8,508,230)		
	自主事業経費	7,400,000	2,699,824	4,700,176		
	光熱水費	24,540,000	18,548,627	5,991,373		
	リース料	1,000,000	686,756	313,244		
	その他	9,900,000	8,125,445	1,774,555		
	支出総額	116,590,000	110,351,633	6,238,367	0	0
収支差額		2,410,000	2,369,114	40,886	0	0

3. 総合評価

自己評価	90点
<p>平成29年度4月より指定管理業務がスタート。利用者に指定管理者が替わったことを知っていただくために下記の事項を実行しました。</p> <p>(1) 現行システムの見直し</p> <p>① 事務所受付時間の変更⇒4月1日より受付(自動扉前)について、体育館スタッフが21:00まで対応。 各施設利用の申込受付時間の変更⇒12月1日より17:30→20:30までに延長しました。</p> <p>② 券売機のリニューアル 4月1日より新券売機設置。カテゴリー別に分かり易く配置を変更しました。</p> <p>③ スタッフのユニフォームを河内長野市のイメージカラーに一新し、体育館のスタッフらしくイメージチェンジを行いました。</p> <p>(2) 利用促進施策として</p> <p>① トレーニング室:4月4日より、最新マシンにリニューアル、室内にはテレビ2台とドリンク・荷物置き棚を設置。</p> <p>② トレーニング専任スタッフを配置し、利用者から安心して利用できると好評で、ご夫婦、女性の利用者も増えました。21,260→29,540人</p> <p>③ ピクトサインの設置:館内にピクトサインを積極的に取り入れ、子どもからお年寄り、車いすの方まで、誰もが見やすい掲示物の工夫をしています。</p> <p>④ 熱中症対策:タニタ熱中症指数計3台購入。(有人管理施設に設置)、ミストシャワー設置。(大師総合運動場に設置。次年度赤峰市民広場に設置予定)</p> <p>⑤ カップ麺の販売(冬期):近隣にショップがなく、利用者様の声をもとに、下里管理棟にてカップ麺の販売を開始しました。</p> <p>⑥ アンケート箱の設置:利用者様から寄せられた意見・要望・苦情等を速やかに現場に反映しています。アンケート内容は近々に施設内に掲示するとともに、ホームページ等で市民の皆様に開示し、円滑な施設運営への理解と協力をお願いしていきます。</p> <p>(3) 広報活動について</p> <p>① ホームページの開設:最新情報、スクール内容の案内、イベント(自主事業)情報の配信を行っています。</p> <p>② 市関連部署との連携 広報への掲載を積極的に行っており、SSK⇄スポーツ振興課⇄総合スポーツ振興会とのトライアングル体制で連携を図っています。</p> <p>(4) 自主事業について</p> <p>① トレーニング講習会。年18回→24回へ増やす。島田病院から講師派遣を依頼していたが、自前のトレーナーを講師として実施。</p> <p>② トレーニング室では専属トレーナーによるパーソナルトレーニング、会議室では、脳トレ・ストレッチ教室を開催中</p> <p>③ 下里人工芝グラウンドでは、FC長野様の協力のもとサッカー教室を開催しております。</p> <p>(5) 第三者業務委託(施設管理・防災・防犯・電気・清掃・警備等)に関して 前年から一部業者を変更しておりますが、利用者の安全管理に気を配り、施設巡回、整備、危険個所の把握、情報収集等に努めています。</p> <p>(6) 収支面に関して 収入面では、自主事業、物品販売が現状では目標額達成は厳しいですが、利用料金収入増(トレーニング新規利用者確保、施設空き情報開示等)に努める。 支出面では、下里グラウンドの施設管理を強化したことにより管理費増となったが、安全管理面が行き届くようになった。それをカバーしたのが、光熱費の削減(関西電力との条件交渉)、修繕費の削減(各施設の専任スタッフによる自前の修理・補修・備品調達等)です。</p> <p>(6) 事故・苦情・要望等の対応 体育館、大師グラウンドの事故(骨折・捻挫等)で救急搬送を依頼したのが14件。スタッフや関係者の迅速かつ適切な応急処置で問題なく対応出来ました。 利用者からの各施設の不具合、修理面の苦情、要望は、出来る限り迅速に当方の熟練スタッフで対応しております。金額の掛かるものは市と相談し対応。</p> <p>(7) 次年度への課題 今後大きな修繕費が掛かる見込み。施設の老朽化に伴う修理。体育館が平成12年度のリニューアルから18年となり、空調設備の交換部品が調達不可、自動ドア買替、雨漏り対策。荘園庭球場・寺ヶ池野球場の防球ネット劣化等で維持管理費用が増加し続ける中で、サービスを低下することなく、自助努力(自主事業の強化、新規利用者の確保、経費削減等)で管理運営するには限界がある為、将来的に健全運営していくための施策を、市と話し合う必要があります。</p>	
市評価	
<p>平成29年4月から河内長野市SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が始まり、窓口の受付時間の延長や接客研修の実施による利用者の利便性の向上やイメージアップの取り組みを評価している。</p> <p>また、トレーニング室内の器具の更新を行いトレーナーを常駐させるなどにより、利用者数が前年比約140%と増加を見たが、管理施設トータルの利用者数では少子高齢化や人口減少などの影響による利用者の減少もあり前年比で約97%となった。今後も人口減少の傾向が続くため利用者の減少を魅力ある自主事業の企画により食い止めてもらえるよう期待する。</p> <p>施設管理について老朽化の著しいなか、修繕については営繕担当職員の創意工夫により迅速に対応してもらった。</p> <p>その他の修繕や樹木の選定やグラウンド整備について適切な時期に適切に対応してもらった。</p> <p>運営についても、電気事業者や契約の見直しによる電気代の削減をはじめとする運営の効率化を図ってもらっていることを評価する。</p> <p>今後、体育館の消防設備をはじめとする大規模な修繕が予想されるなか、市と協力して効率的な運営に民間企業としてのノウハウを生かし、協力してもらうことを期待する。</p>	